

令和5年度総社市市民提案型事業

中間報告

一般社団法人KaiKai



令和5年10月26日

事業名

スヌーズレン体験を通じた重症心身障害児、
医療的ケア児と地域住民の交流プロジェクト

事業目的

スヌーズレン体験や、ボランティアの方による
ミニコンサートを通じて、普段接点の無い、重
症心身障害児、医療的ケア児と地域住民の
方々との交流を図り、相互理解を深め、開か
れたインクルーシブな社会を醸成する。



事業概要

令和5年度中に、年6回スヌーズレン体験会
&はあとふるミニコンサートへ、地域住民の
方々を無料でご招待します。

障害の有無に関わらず楽しめるスヌーズレン
体験会や、利用している子どもたちと一緒にミ
ニコンサートに参加して頂いてお互いに交流
を図ります。



スヌーズレンとは・・・



Snuffelen

クンクンと
あたりを
探索する様子



+

Doezelen

うとうとと
気持ちの
いい様子



=

Snoezelen

スヌーズレンとは、この2つを掛け合わせた造語で、
もとは1970年代にオランダで重い知的障害がある人の余暇活動として始まりました。

この活動を行う空間スヌーズレンルームには、光・音・匂い・振動・触覚の素材等、
感覚を優しく刺激するものが効果的に配置してあります。
利用者はこの空間で、自ら好きな感覚を楽しみ、誰からも指示されない特別な時間を過ごします。
アロマセラピー、タッチングケア、音楽療法等の温かなケアが注目され始めた1980年代、
それらを一つにまとめようという動きの中でスヌーズレンはヨーロッパを中心に発展してきました。
昨今では、世界45カ国以上に広がり、その人にとって心地よい感覚刺激を通じた
アプローチをすることで、思考・感情・行動を変化させていく
セラピー的なものとしても多く用いられ、障害の有無にかかわらず、誰でも楽しめる空間として
楽しまれています。



進捗状況



スヌーズレン体験会と、ミニコンサートを10月現在で3回実施しました！
目的通り、地域住民の方々との交流を行うことが出来ました。（市長もお越しくださいました。）

今後、12月、2月、3月にスヌーズレン体験会
&はあとふるミニコンサートを実施します。



よかったこと、成果

はじめてスヌーズレンに触れた方ばかりで、特に扉を開けた瞬間に、「わあー！」驚きの声を上げられる方も多く見られました。

体験時間が終わったのでお呼びする為に扉を開けると、とてもリラックスした体勢で体験くださっていました。

また、その後ミニコンサートにも参加していただき、手拍子をしたり、楽器を鳴らしたり、ぬいぐるみを一緒に輪の中で回して下さったりと、子どもたちと一緒に交流をしていただくことができました。

特に第2回開催分は夏休み中だったので、一般の子どもたちも大勢参加してくださり、重い障がいがある子どもたちと一緒に過ごすことが出来ました。

「小さいインクルーシブな社会」がまさに出来上がった瞬間でした。



課題

1回あたりの参加者を10組としていましたが、あまりにも参加者が多いとコンサート中にスヌーズレン体験を行うなど、ゆったりとスヌーズレン体験を行って頂く事が難しくなるため、今後は5組程度に抑えて募集する予定です。



スヌーズレンルームの整備、出張講師をしてくださった方（総社市在住ではないですが）、中心となってミニコンサートで演奏してくださった方、その方のお知り合いで普段一緒にコンサートに参加されているメンバーの方数名と連携・協働しました。また、他市のNPO法人の代表の方がご見学にいらっしやり、当法人でも是非スヌーズレンルームを導入するという事で、波及効果も見られました。

岡山県では総社市にある「一般社団法人sai kai」様がすでに導入されているということでご無理をお願いして実際に見学、体験させて頂きました。「貴重な体験ありがとうございました」約30分ほどの体験でしたが感覚的には「宇宙空間」か「深海」を想像させるもので気分も落ち着きリラックスできる貴重な体験となりました。これは「改装」の目玉として是非とも導入しようと準備に取り掛かっているところです。

又、音楽療法も兼ねたミニコンサートの定期的開催等運営面での内容充実を準備してます。近い将来、



行政(の担当課)に期待すること

今後、保育園、老人ホームなど地域の福祉施設さまとも交流させていただきたいと考えております。
以降のスヌーズレン体験&はあとふるミニコンサート開催に際し、是非、顔つなぎをしていただけると大変有り難いです。



以上で発表を終わります。

